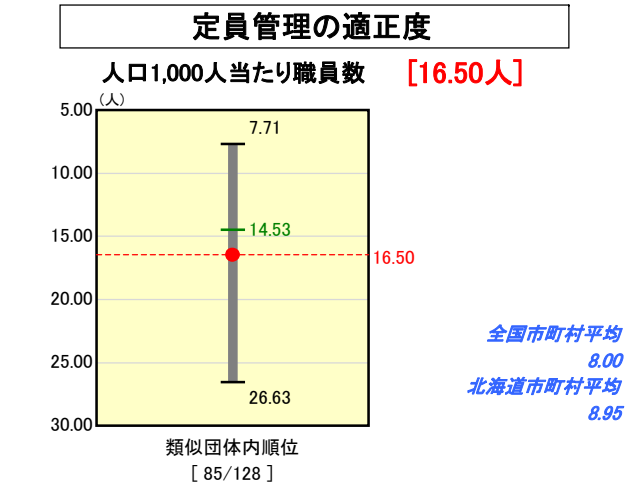
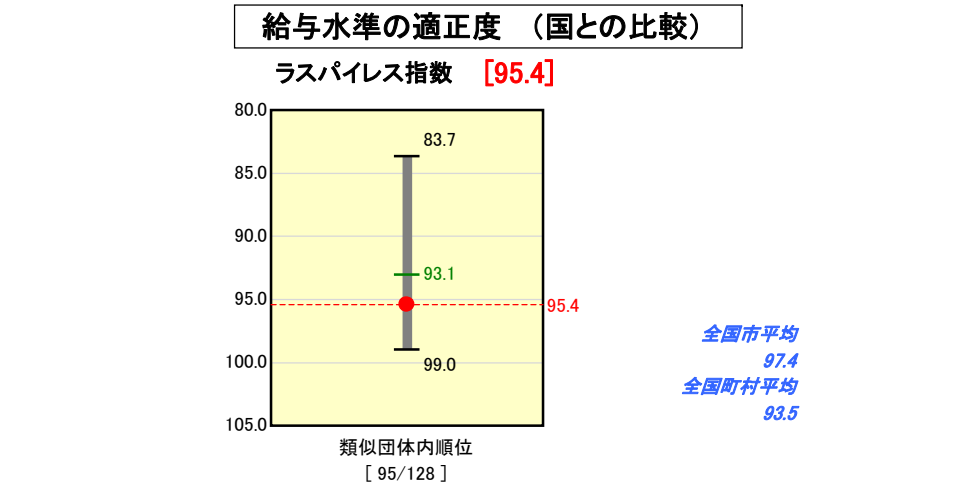
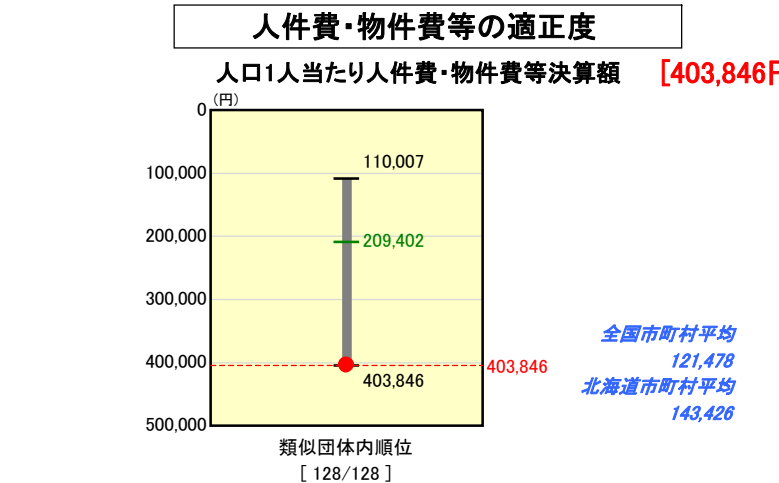
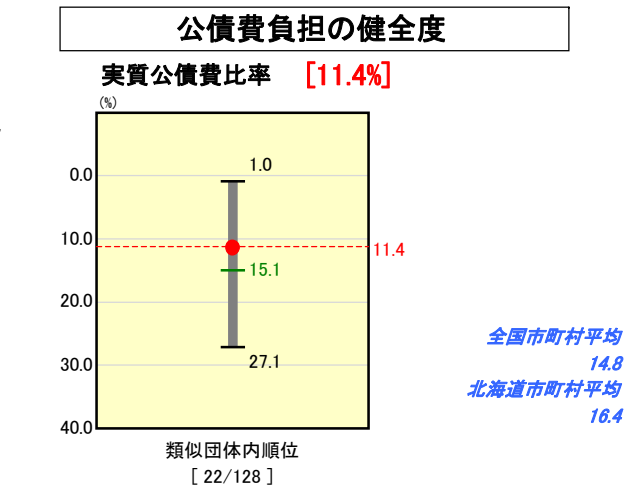
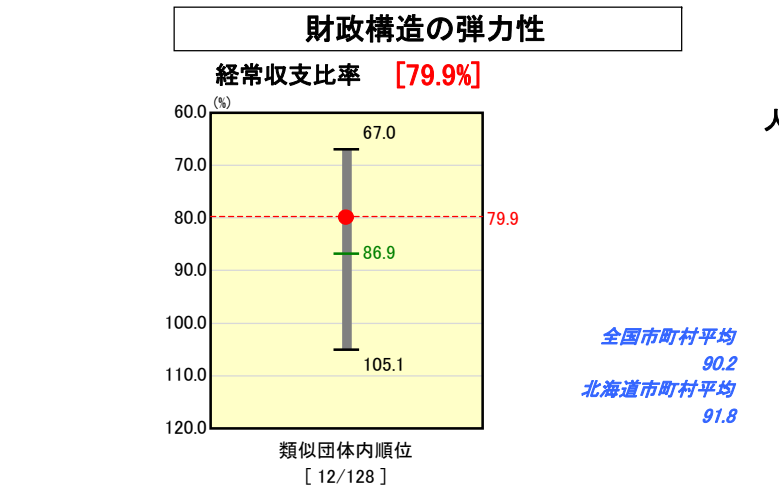
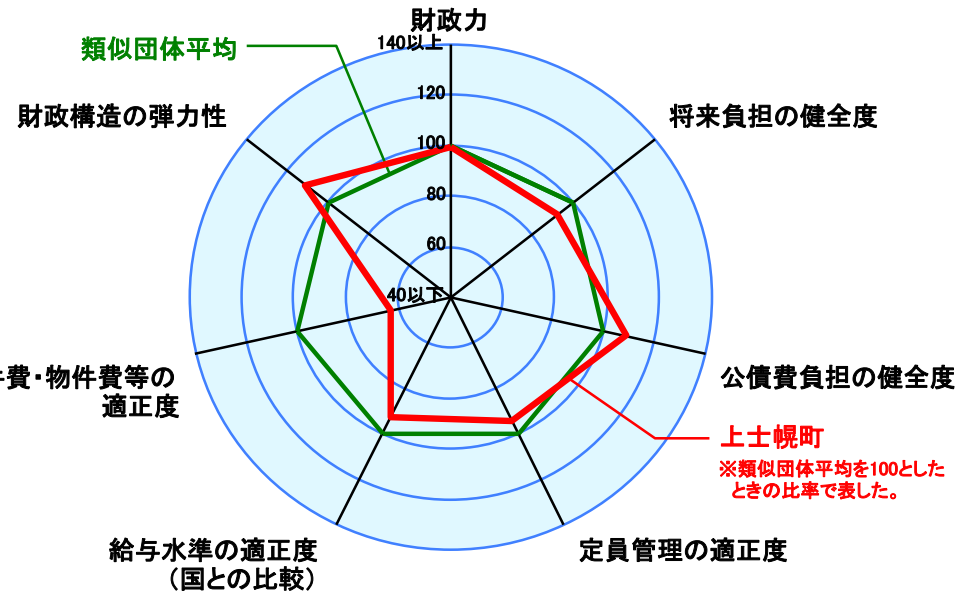
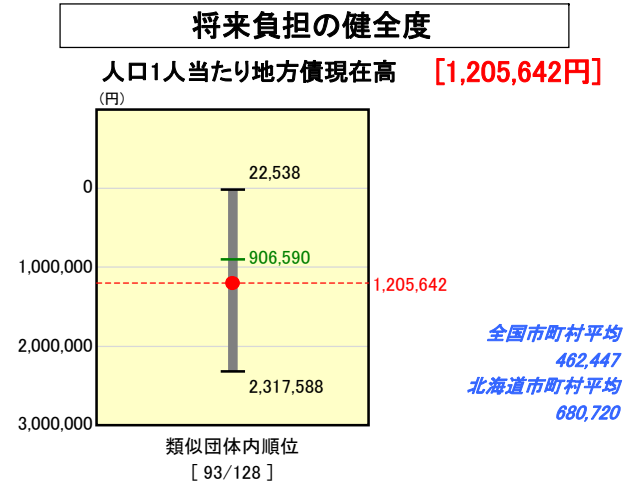
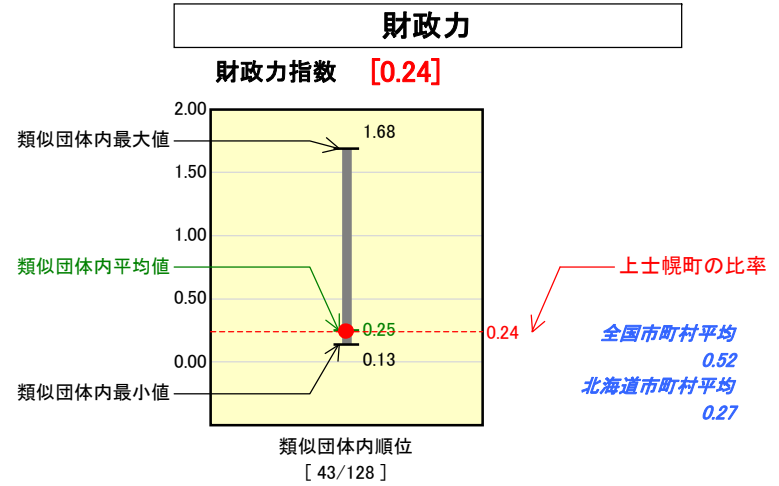


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 北海道 上士幌町

人口	5,456人	(H18.3.31現在)
面積	694.09	km <sup>2</sup>
歳入総額	6,534,536	千円
歳出総額	6,380,248	千円
実質収支	151,752	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数:**  
横ばいで推移し、類似団体平均とほぼ同率となっている。収入額はほぼ横ばいだが、人口減の影響などで基準財政需要額がともに年々減少していることが、低く推移している要因と考えられる。地域住民との協働によるまちづくりを進め、少ない経費で効率的な行政運営をすることで、財政力の強化に努める。

**経常収支比率:**  
人件費・公債費などの減額により経常的経費が減少し、一方で、普通交付税が増額となり経常一般財源減少幅が小さかったことが、前年度より比率が減少した要因となっている。しかし、ここ数年で普通交付税が激減しており、扶助費などの義務的経費は増加していることから、今後比率が上昇することが懸念される。行政改革等により経常経費の抑制を図ってきているが、交付税の減額幅に追いつかないのが現状である。今後も引き続き経費圧縮を図り、また、税収確保に努め、比率上昇の抑制に努める。

**ラスパイレス指数:**  
類似団体平均を上回っているが、平成16年度より職員給与の独自削減を実施しており、これまで100ポイント以上であった指数が90ポイント台に抑制されている。平成19年度からは、年功的な要素が強い給料構造から職務・職責に応じた給料表、昇級制度への見直しを行う。

**実質公債費比率:**  
元利償還のピークが過ぎ、新規起債も抑制していることから類似団体平均を下回っている。今後も起債に依存しない財政運営に努める。

**人口1人当たり地方債現在高:**  
起債を抑制していることから現在高は年々減少しているが、過疎化の進行により人口の減少が著しいため、一人当たり現在高は類似団体平均を上回っている。

**人口1,000人当たり職員数:**  
町の面積が広大であり、また町営牧場や博物館の運営等、本町固有の施策により類似団体平均を上回っているが、過去5年間で32名(26%)の減員が図られたところである。今後においても事務事業の見直しや住民との協働等を推進して業務の効率的な運用により、退職者の不補充や職員の効率的な配置により適切な定員管理に努める。

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額:**  
類似団体で最も高くなっているが、これは町営牧場にかかる物件費が主な要因となっている。町営牧場にかかる物件費は約5億8千万円(人口1人当たり約10万2千円)である。今後は、運営方法の抜本的な見直しの検討と並行して、具体的事業の推進にあたっては飼養頭数を適正規模へ縮小し、飼料費や維持補修費等の徹底したコスト削減を図っていく。また、その他人件費・物件費全般にわたって、経費の圧縮に努める。